

深海研究室 テーマ

リンゴを深海に持っていくとどうなるか。

大利根町立大利根中学校

並木 敏郎 ・松本 怜
駒宮 寛子 ・川島 裕子

【研究の動機】

深海は、地上に比べて多くの圧力がかかる。地上にある物体の形や大きさが水圧で変化している様子をテレビ等で見たことがある。私たちは、皮のしっかりしている果物は深海の圧力でどのように変化するか知りたくて、このテーマを考えた。そこで、表面が堅く、中身のみずみずしいリンゴに、深海の水圧が加わることで、リンゴの中の成分がどのように変化するかについて調べてみたいと思ったから。

【研究の概要】

- ① 実験用の箱にリンゴを取り付け、深海に持って行く。
- ② 潜水中の様子を観察する。
- ③ 地上のリンゴと形、味を比べる。

【結果】

DVDの様子から、見た目にはほとんど変化がない。
地上のリンゴとの味比べでは、若干、スカスカしている感じがする。と報告された。

【考察】

私たちの、事前の予想では、外からの圧力によって皮がシワシワになると思っていたが、今回の実験では、外見はほとんど変化がなかった。リンゴの皮は、外からの圧力に対してあまり影響を受けにくいくらいしっかりしているものだということがわかった。味に関しては、スカスカしている感じということから、水分が抜けてしまったのか、と思う。

【終わりに】

なかなか、経験できない実験の様子を現実のものとして行っていただき、ありがとうございました。

今回、勉強したことを生かして、機会があれば継続研究をしてみたいと思います。